

令和2年度(2020年度) 建設コストの計画と実績

債務引受限度額と会社から引き受けた債務との対比を下記に示します。
 令和2年度(2020年度)に完了した事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、工事数量の確定(精算)等によるものです。
 令和2年度(2020年度)に完了しなかった事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、新設・改築事業では附帯工事等の工事が令和3年度以降に残ったこと、利便増進事業(スマートIC)が令和3年度以降計画的に実施されること、修繕事業や特定更新等工事では工程の見直し等で機構への帰属を令和3年度以降としたこと、災害復旧事業では過去の実績をもとに料金徴収期間満了までに必要となる額が債務引受限度額として計上されていることによるものです。

[単位:百万円(消費税込み)]

道庁名(区間名)	債務引受限度額(計画)(A)	債務引受額(実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額についてのコメント
		令和元年度まで(B)	令和2年度(C)	計(D)=(B)+(C)		
北海道横断自動車道黒松内釧路線 余市IC~小樽JCT新設事業	129,378	106,932	5,678	112,610	△ 16,767	・差額は、小樽ジャンクションの残事業に要する費用。 ・令和2年度の債務引受額は、後志道本線の残事業に要した費用。
常磐自動車道 常磐富岡IC~相馬IC新設事業	108,613	90,479	15,937	106,416	△ 2,196	・差額は、工事数量の確定等による減。
東関東自動車道水戸線 三郷南IC~松戸IC新設事業	89,833	85,923	1,012	86,936	△ 2,896	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和2年度の債務引受額は、残工事費の一部の費用。
東関東自動車道水戸線 松戸IC~高谷JCT新設事業	749,665	642,291	82,082	724,373	△ 25,291	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和2年度の債務引受額は、残工事費の一部の費用。
東北縦貫自動車道弘前線 福島JCT新設事業	9,496	7,530	1,722	9,253	△ 242	・差額は、工事数量の確定等による減。
東北中央自動車道相馬尾花沢線 山形PA新設事業	1,367	1,039	77	1,117	△ 249	・差額は、工事数量の確定等による減。
東北中央自動車道相馬尾花沢線 上山IC~東根IC改築事業	3,005	2,368	23	2,392	△ 612	・差額は、工事数量の確定等による減。
関越自動車道新潟線 東松山IC~渋川IC改築事業	9,681	8,861	465	9,327	△ 353	・差額は、工事数量の確定等による減。
東関東自動車道水戸線 三郷JCT二次改築事業	21,399	18,974	2,013	20,987	△ 411	・差額は、工事数量の確定等による減。
東日本高速道路株式会社管理する高速道路に係る高速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	48,256	45,014	1,632	46,647	△ 1,607	・差額は、残事業中のスマートICに要する費用。 ・令和2年度の債務引受額は、1箇所供用及び2箇所未完了に要した費用。
関越自動車道新潟線 中央JCT~大泉JCT新設事業	1,320,637	0	15,121	15,121	△ 1,305,515	・差額は、本線事業に要する費用。 ・令和2年度の債務引受額は、機構資産の新設に要した費用。
日本海沿岸東北自動車道 酒田みなとIC改築事業	1,995	0	1,238	1,238	△ 756	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和2年度の債務引受額は、酒田みなとIC供用に要した費用。
東北縦貫自動車道八戸線 八戸西スマートIC改築事業	2,777	2,660	54	2,715	△ 61	・差額は、工事数量の確定等による減。
常磐自動車道 ならはスマートIC改築事業	3,225	2,903	260	3,163	△ 61	・差額は、工事数量の確定等による減。
東北縦貫自動車道弘前線 桑折JCT新設事業	7,540	0	6,617	6,617	△ 922	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和2年度の債務引受額は、桑折JCT供用に要した費用。
常磐自動車道 大熊IC新設事業	2,763	2,604	28	2,633	△ 130	・差額は、工事数量の確定等による減。
常磐自動車道 常磐双葉IC新設事業	2,922	2,390	443	2,834	△ 87	・差額は、工事数量の確定等による減。
常磐自動車道 いわき中央IC~広野IC改築事業	99,293	0	88,609	88,609	△ 10,683	・差額は、一部未開通区間及び附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和2年度の債務引受額は、4車線化に要した費用。
常磐自動車道 山元IC~亘理IC改築事業	32,963	0	26,829	26,829	△ 6,133	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和2年度の債務引受額は、4車線化に要した費用。
一般国道6号(仙台東部道路) 亘理IC~岩沼IC改築事業	14,050	0	11,330	11,330	△ 2,719	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和2年度の債務引受額は、4車線化に要した費用。
北海道縦貫自動車道函館名寄線 吉小牧中央IC新設事業	2,637	0	2,377	2,377	△ 259	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和2年度の債務引受額は、吉小牧中央IC供用に要した費用。
東北縦貫自動車道弘前線 矢板北スマートIC新設事業	1,243	0	1,106	1,106	△ 136	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和2年度の債務引受額は、矢板北スマートIC供用に要した費用。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 令和2年度修繕事業	261,446	—	161,228	161,228	△ 100,217	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 災害復旧事業	163,626	111,350	1,755	113,105	△ 50,520	・差額は、令和3年度以降の災害対応に要する費用。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 令和2年度特定更新等工事	14,336	—	12,922	12,922	△ 1,413	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。

注1) 令和2年度(2020年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、□は、令和2年度(2020年度)に完了している新設・改築事業である。

注2) 端数処理の関係上、計が含まないことがある。

注3) 修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、令和2年度(2020年度)までの債務引受限度額(計画)の累計から、令和元年度(2019年度)までの債務引受額(実績)を控除している額である。

注4) 特定更新等工事に関する債務引受限度額(計画)は、令和2年度(2020年度)までの債務引受限度額(計画)の累計から、令和元年度(2019年度)までの債務引受額(実績)を控除している額である。